2024　年度 授業計画(シラバス)

学　　科	看護学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	精神援助論Ⅰ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30　(1)　時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時限	前期	教室名	2年生教室
担 当 教 員	下田　基代枝	実務経験とその関連資格	看護師として精神科病棟で勤務していた。			

《授業科目における学習内容》

対象を理解する手段となる傾聴、共感を基本としたコミュニケーション技術の活用と、人間関係を確立、発展させる方法について学ぶ。同時に自己を理解することの必要性とその方法についても学ぶ。

《成績評価の方法と基準》

課題の提出と本試験

《使用教材(教科書)及び参考図書》

精神看護学①精神間学概論/精神保健
精神看護学②精神障害をもつ人の看護

《授業外における学習方法》

プロセスレコードの記録は授業時間だけでは足りません。自己学習で行うことになるため、授業内容をよく理解して取り組んでください。

《履修に当たっての留意点》

基本的には教科書に沿った内容と演習です。また課題があるため、主体的な取り組みが必要となります。

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	社会構造や生活様式の変化などに伴う心の健康につながる課題を学ぶ。 現代社会特有の精神保健上の問題の実状と社会的背景を学ぶ。 精神保健上の問題への対策と今後の方向性を学ぶ。	資料 教科書(精神看護学概論/精神保健)	シラバスでの内容と授業範囲の確認 事前学習:教科書の該当ページを読む 事後学習:授業、配布資料の復習をする
		各コマにおける授業予定	第6章　現代社会と精神(心)の健康/ドメスティックバイオレンス・パワーハラスメント・児童虐待		
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	社会構造や生活様式の変化などに伴う心の健康につながる課題を学ぶ。 現代社会特有の精神保健上の問題の実状と社会的背景を学ぶ。 精神保健上の問題への対策と今後の方向性を学ぶ。	資料 教科書(精神看護学概論/精神保健)	事前学習:教科書の該当ページを読む 事後学習:授業、配布資料の復習をする
		各コマにおける授業予定	第6章　現代社会と精神(心)の健康/いじめ・ひきこもり・不登校		
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	社会構造や生活様式の変化などに伴う心の健康につながる課題を学ぶ。 現代社会特有の精神保健上の問題の実状と社会的背景を学ぶ。 精神保健上の問題への対策と今後の方向性を学ぶ。	資料 教科書(精神看護学概論/精神保健)	事前学習:教科書の該当ページを読む 事後学習:授業、配布資料の復習をする
		各コマにおける授業予定	第6章　現代社会と精神(心)の健康/自殺・自傷行為・アルコール問題		
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	社会構造や生活様式の変化などに伴う心の健康につながる課題を学ぶ。 現代社会特有の精神保健上の問題の実状と社会的背景を学ぶ。 精神保健上の問題への対策と今後の方向性を学ぶ。	資料 教科書(精神看護学概論/精神保健)	事前学習:教科書の該当ページを読む 事後学習:授業、配布資料の復習をする
		各コマにおける授業予定	第6章　現代社会と精神(心)の健康/薬物問題・ギャンブル依存・IT依存・犯罪・非行		
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	精神を病むとはどういうことかを理解する。 精神障害者への偏見や差別への対応策を理解する。	資料 教科書(精神障障害をもつ人の看護)	シラバスでの内容と授業範囲の確認 資料での復習と予習
		各コマにおける授業予定	第1章　精神医療・看護の対象者:精神の病気・障害をもつということ		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	精神障害をもつ人の経験していることに理解を深める。 精神障害をもって生活することの意味をリカバリー概念から理解する。	資料 教科書（精神障障害をもつ人の看護）	資料での復習と予習
		各コマにおける授業予定	第1章　精神医療・看護の対象者：精神の病気・障害をもつということ		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	精神障害をもつ人との「患者−看護師」関係のあり方を理解する。	資料 教科書（精神障障害をもつ人の看護）	資料での復習と予習
		各コマにおける授業予定	第5章精神障害をもつ人と「患者−看護師」関係の構築 精神障害をもつ人とのかかわり方		
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	精神障害をもつ人との「患者−看護師」関係のあり方を理解する。 精神障害をもつ人とのpコミュニケーションの意味を理解する。 多様なコミュニテケーションの方法を理解する。	資料 教科書（精神障障害をもつ人の看護）	資料での復習と予習 課題の作成（30分～）
		各コマにおける授業予定	第5章精神障害をもつ人と「患者−看護師」関係の構築 精神障害をもつ人とのコミュニケーション		
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標	精神障害をもつ人とのかかわりの振り返りの重要性を理解する。 プロセスレコードの使い方とその意義を理解する。	資料 教科書（精神障障害をもつ人の看護）	資料の復習 演習課題（30分～）
		各コマにおける授業予定	精神障害をもつ人との関係の振り返り		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	プロセスレコードの目的、書き方について理解することができる。□	資料 教科書（精神障障害をもつ人の看護）	資料の復習 演習課題（30分～）
		各コマにおける授業予定	プロセスレコードの活用　①		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	プロセスレコードの目的、書き方について理解することができる。□	資料 教科書（精神障障害をもつ人の看護）	資料の復習 演習課題（30分～）
		各コマにおける授業予定	プロセスレコードの活用　②		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	プロセスレコードの目的、書き方について理解することができる。□	資料 教科書（精神障障害をもつ人の看護）	資料の復習 演習課題（30分～）
		各コマにおける授業予定	プロセスレコードの活用　③		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	プロセスレコードを修正することによって、さらに理解を深める。	資料 教科書（精神障障害をもつ人の看護）	資料の復習と演習課題
		各コマにおける授業予定	プロセスレコードの活用　④		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	プロセスレコードを修正することによって、さらに理解を深める。	資料 教科書（精神障障害をもつ人の看護）	資料の復習と演習課題
		各コマにおける授業予定	プロセスレコードの活用　⑤		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	プロセスレコードを修正することによって、さらに理解を深める。	資料 教科書（精神障障害をもつ人の看護）	資料の復習と演習課題
		各コマにおける授業予定	プロセスレコードの活用　⑥		